

## 令和6年度シラバス（ 英語 ）

中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	英語（総合英語Ⅱ）	単位数	4単位	学年(コース)	5学年（国際科学科）
使用教科書	東京書籍 ENRICH LEARNING English CommunicationⅡ				
副教材等	東京書籍 ENRICH LEARNING English CommunicationⅡ 本文学習ノート 東京書籍 ENRICH LEARNING English CommunicationⅡ WORKBOOK 啓林館 総合英語 Vision Quest、桐原書店 DataBase 3000 基本英単語・熟語 リクルート スタディサプリ中高英会話コース、桐原書店 DataBase AVAIL いいずな書店 英文法・語法Vintage、文英堂 SWITCH Training Stage 3 数研出版 Skyjack! (数件 OXFORD セレクション)				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に着け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。 ②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。 ③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。 ②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。 ③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。 ④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。 ⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。

### 2 学習目標

- 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、
1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
  2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
  3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
  4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
  5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

### 3 指導の重点

一年間で、次の技術習得を目指す。

- 1 基本語 2000 語を適切な技能において使用できる。
- 2 見て意味が分かる語を約 4500 語にする。
- 3 1 万語の英文を読む。
- 4 英文の読解速度として教科書を 130WPM(1 分間に 130 語)で読むことができる。
- 5 教科書本文の段落間のつながりや文章全体の構成を理解することができる。
- 6 社会性の高い内容を聞いて、理解することができる。
- 7 論理的に自分の意見を、クラスやコンテスト等において、5 分程度発表することができる。
- 8 場面や目的に応じた形式で、複数のパラグラフを使って 100 語程度の文章を書くことができる。
- 9 ICT 機器を活用して、プレゼンテーションやディベートを効果的に発表できる。
- 10 ディベートを通して、時事的な内容を、論理的に考えたり批判的思考力を持つことができる。

#### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聴くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

#### 5 評価方法

各観点における評価方法は次のとおりです。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聴くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

#### 6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	Unit 1 What can we do to prevent endemic species from becoming extinct?		題材内容 かつてニュージーランドに生息していた巨大な鳥、モアの絶滅の歴史を知るとともに、今まさに危機に瀕する動物について学び、保護のためにできることを考える。 [言語材料] 助動詞+完了形/不定詞の意味上の主語 [言語活動] 絶滅の危機に瀕している動物の特徴や生態などについて説明する。 [言語の働き] 勧める/理解や納得を示す	12	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出

5	Unit 2 Which sports can really be called sports?		<p>[題材内容] 年々人気を増す e スポーツの特徴を理解し、伝統的なスポーツとの違いや、スポーツをスポーツたらしめている条件とは何かを考える。</p> <p>[言語材料] 受け身の不定詞/助動詞 do による強調</p> <p>[言語活動] ある論題について、主張と根拠を明確にしなが、ディベートを行う。</p> <p>[言語の働き] 勧誘する/断る</p>	13	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出
6	Unit 3 How do we choose what we eat?		<p>[題材内容] 多様な食習慣の背景にある文化や、地球環境への影響について知る。「食べるものを選択する」という視点から、レストランのレビューやコメントも取り上げる。</p> <p>[言語材料] 先行詞を含む関係副詞/否定語の倒置</p> <p>[言語活動] レストランのレビューや、ほかのレビューへのコメントを書く。</p> <p>[言語の働き] 提案する/説得する/妥協する</p>	12	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出
6	定期考査			1	
7, 8	Unit 4 How have inventions changed history?		<p>[題材内容] ペニシリンの発明に至る経緯と、後世に与えた影響について理解する。さらに、現代のさまざまな発明品について、その意義を考える。</p> <p>[言語材料] 強調構文/関係副詞の非制限用法</p> <p>[言語活動] 有益だと思う発明品について説明する。</p> <p>[言語の働き] 想像したことを伝える/相手の考えを聞く</p>	12	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出
8, 9	Unit 5 What can we learn from traveling?		<p>[題材内容] 若者が旅行をすることの意義と問題点を踏まえて、進学・就職前に長期の休暇をとって見聞を広げる「ギャップ・イヤー」という仕組みへの賛否を考える。</p> <p>[言語材料] 接続詞+分詞/完了不定詞</p> <p>[言語活動] 「ギャップ・イヤー」への賛成・反対の意見とその理由を説明する。</p> <p>[言語の働き] 希望を伝える</p>	13	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出
9	定期考査			1	

10	Unit 6 How do people's personalities affect their behavior?		<p>[題材内容] 内向的な人の特徴や、性格が振る舞いに及ぼす影響について理解する。自分自身やクラスメートの性格の分析を通して、多様性についても考える。</p> <p>[言語材料] 部分否定</p> <p>[言語活動] 性格が振る舞いに及ぼしている影響について説明する。</p> <p>[言語の働き] 誘いを受け入れる／うまく誘いを断る</p>	13	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出
11	Unit 7 Who should we celebrate on our money?		<p>[題材内容] 日本の新紙幣の顔となる津田梅子や、アメリカの紙幣への掲載が計画されていたハリエット・タブマンについて知り、紙幣に取り上げるべき人物について考える。</p> <p>[言語材料] 受け身の進行形/be 動詞+不定詞</p> <p>[言語活動] 紙幣に取り上げるべき人物について意見を述べ合う。</p> <p>[言語の働き] 自分について伝える</p>	13	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出
11	定期考査			1	
11, 12	Unit 8 How can we find out if news is real or fake?		<p>[題材内容] フェイクニュースの歴史を知る。現在のインターネット上のフェイクニュースの見分け方についても学び、あるニュースの真偽を考察する。</p> <p>[言語材料] 複合関係副詞</p> <p>[言語活動] あるニュースの真偽について意見を述べ合う。</p> <p>[言語の働き] 話題を発展させる／いきさつを説明する</p>	13	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出

1	Unit 9 What is important when choosing a job?		<p>[題材内容] 社会の変化を踏まえながら、今、仕事を選ぶ際に重要なことについて理解する。さらに、ある仕事を選ぶ理由や、その仕事への適性についても考える。</p> <p>[言語材料] 過去の習慣</p> <p>[言語活動] ある仕事を選ぶ理由やその仕事への適性を伝え合う。</p> <p>[言語の働き] 将来したい仕事をたずねる、伝える</p>	12	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出
2	Unit 10 How can we improve our school?		<p>[題材内容] 制服、カリキュラムなどの面から、学校を改善するための提案とそれに対する反論を理解する。最後に、自分たちの学校をよりよくするための提案を考える。</p> <p>[言語材料] 未来進行形/未来完了形</p> <p>[言語活動] ディスカッションを通して考えを深め、効果的にプレゼンテーションする。</p> <p>[言語の働き] 助言を求める、与える</p>	12	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出
2	定期考査			1	
3	Active Reading The Wolf's Tale		<p>[題材内容] 誰もが知る「赤ずきん」の真相を、オオカミが語る物語。背景知識を生かして、異なる視点からストーリーを読み取る。</p>	11	ワークシート 授業中の取り組みの見取り パフォーマンステスト 課題等の提出

計 140 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・週末課題
- ・Unit Activity の発表・ライティング
- ・ワークシート
- ・準拠『WORKBOOK』『本文学習ノート』等

## 8 担当者からの一言

身近な話題から広く社会的な問題を自分ごととしてとらえ、情報を分析し、的確に決断して明快な言葉で説明できる力を育みます。積極的に授業に参加し、英語の4技能5領域の言語能力を高めましょう。また、論理的に考える力や、共感したり豊かに想像する力を伸ばすことを目指しましょう。基礎的な力を定着させ、応用力を養うために家庭学習は欠かせません。課題や自主学習にもしっかり取り組み、充実した一年にしましょう。(担当：森田、北原、東條)